

たわわ

2015
SUMMER
No.95

「たわわ」というタイトルには「小さな情報がたくさん集まって多くの実を結ぶように」という期待が込められています。

囲碁のまち 20回の道のり



湘南ひらつか囲碁まつりを知っていますか？



上の写真のように、紅谷パールロードにずらりと碁盤を並べた多面打ち大会の様子を何かでご覧になったことのある方も多いのではないでしょうか。

この多面打ち大会が行われる湘南ひらつか囲碁まつりは、平成27年に20回目を迎えます。

囲碁まつりの歴史は、平成8年に博物館が実施した特別展「木谷賞展」から始まりました。

木谷賞九段は囲碁界に名を残す昭和の偉大な棋士です。

棋士としての素晴らしい功績はもとより、「木谷道場」と呼ばれたプロ棋士を養成する囲碁道場を平塚市内に構え、今なお囲碁界の第一線を走り続ける棋士たちを多く育てました。

木谷道場が市内にあったことから、平塚市では「囲碁によるまちづくり」に力を注いでいます。

その、第1弾とでも言うべき「木谷賞展」と一緒に展開する関連事業の1つとして行われたのが多面打ち大会でした。

200面打ちでスタートした多面打ち大会には、参加希望者が300~400人ほど来場したので、すぐに満席になってしまいました。

回数を重ねながら、多面打ち大会の碁盤の数を増やしていきましたが、それでも飛び入りの参加希望者の長い列ができていたこともあります。

「トッププロと対局したい！」という多くの参加者の期待に応えるため、平成26年度開催の第19回目までには、500面打ちを2回行うようになりました。

●●●○

囲碁は日本国内のみならず、世界中に愛好者がいます。日本棋院に所属する海外出身の棋士も多く、アジアだけではなくアメリカ出身の棋士もいます。

平成13年には韓国棋院の棋士が囲碁まつりに参加してくれました。木谷門下の趙治勲九段の伯父である趙南哲九段（韓国棋院）は、韓国での囲碁文化の発展に力を注いだ人物であり、ご自身も木谷門下です。そういった深いつながりがあった



平成13年の棋士入場の様子

ため、多くの方にお力添えいただくことができ、金寅（キムイン）九段をはじめとする韓国棋院の棋士達に参加していただきました。

平成13年といえば、日韓共催サッカーワールドカップの前年。

スポーツだけではなく、日韓の文化交流にも大きな役割を果たすことができたのではないのでしょうか。

●●●○

囲碁まつりは屋外で行われるため、雨対策は非常に大きな課題です。

毎回雨天の場合の対策を考えて備えていますが、多面打ち大会の対局中に大雨が降ったことは1度もありません。

対局前に雨が降っていても、対局直前に止んだこともありま

すし、対局が終わって1時間も経たないうちに大雨になったりしたこともあり

ました。それでもなぜか多面打ち大会の時間帯だけは、不思議と毎回天候に恵まれています。

●●●○

名人戦の期間中に開催される囲碁まつりですが、ちょうどその大事な勝負の最中にいた趙治勲九段と小林光一九段がともに参加いただけた年もあります。大事なタイトル戦に集中している時に囲碁まつりに参加していただくのは難しいことなのですが、当時話題のお二人が揃うのはとても印象的な出来事でした。

この日は普段テレビで見ることしかできない棋士も多く参加して

くださるため、参加者は間近を歩く棋士の姿に目を輝かせていま

す。対局の合間のリラックスした表情を、子どもも大人も嬉しそうに

見えています。また、多くの参加者が囲碁に夢中になっている姿に、棋士の皆さんののぞきこんでアドバイスする姿も目にすることが

できます。これほど多くの棋士が一堂に会することとなる「湘南ひらつか囲碁まつり」に、ぜひ1度足を運んでみてはいかがでしょうか。



準備中は雨でも…



大竹名誉基聖と漁師鍋

【湘南ひらつか囲碁まつり】

平成27年度に第20回目を迎える日本最大級の囲碁のイベント。20回の節目を迎える今回は会場を湘南スターモールに移し、1度に1,000面の碁盤を並べての多面打ち大会が予定されている。

日 程 平成27年10月11日（日）

時 間 11時~16時

（1,000面打ち大会は13時~15時30分）

お問い合わせ先

（公財）平塚市まちづくり財団 文化事業課 0463-32-2237

http://www.hiratsuka-bunka.or.jp/igo_event.shtml

ひらつかの文化財を知ろう⑥

平塚の弥生時代の始まりを告げる土器



市内で発掘された最古の弥生土器は、土屋の遠藤原（えんどうはら）A遺跡出土の壺2点です。前期末～中期初頭（2,400～2,300年前頃）という時期の遺物で、神奈川県内でも出土の少ないものです。2個体のみがまとまって出土した状況から、人体を埋葬した後、骨を再度埋葬した再葬墓といわれる埋葬形態とも考えられます。再葬墓はこの時期の関東・東北地方にみられるものです。遠藤原A遺跡が大磯丘陵の標高110m前後の台地上に所在することや、遺物の特徴から、この時期は、本格的な農耕文化とは異質な特徴を持っているようです。

少し後の中期中頃（2,200年前頃）になると、北金目の周辺に集落が営まれます。王子ノ台（おうじのだい）遺跡と名付けられていますが、東海大学の校舎建設の際に調査が行われ、竪穴住居址8軒と共に、たくさんの土器類が発掘されました。発見当時は、県内で初めての弥生時代中期中頃の集落

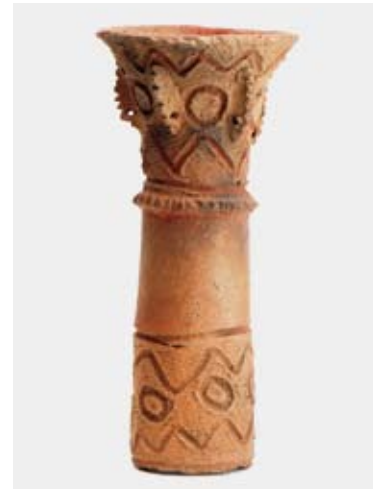
平塚市には、国、県、市それぞれが指定する文化財があります。日頃触れることの少ない、貴重な文化財について御紹介します。

として注目を集めました。周辺の区画整理の際には、掘り込みに伴って甕型土器が出土しています。遺跡からは、瀬戸内海地方の土器の出土もあり、神奈川県域の本格的な弥生時代の始まりに西日本との強い関係のあったことが伺えます。

これら、遠藤原A・王子ノ台遺跡から出土した土器13点は、平塚の弥生時代の始まりを告げる資料として、平成26年度に平塚市指定重要文化財に指定されました。

8月18日～30日に中央図書館1階で開催する「平塚市文化財展」で、これらの土器を展示します。また、8月29日に教育会館で開催する第4回平塚市遺跡調査・研究発表会では、講演「平塚の弥生時代のはじまり」を行う予定です。ぜひご来場いただき、弥生時代に思いを馳せていただきたいと思います。

※今回は特別公開です。常設されていません。



姉妹都市提携25周年 ローレンスレポート②

アメリカ・カンザス州ローレンス市と平塚市の姉妹都市提携25周年を記念した連載2回目は、ローレンス在住のキャロル・シャンケルさんが「カンザス大学」をレポートします。

ローレンス
と言えばココ!

カンザス大学（KU）には約25,000人の学生が在籍し、毎年千人以上の人々がキャンパス内のオレイド山を訪れます。KUジェイホークのバスケットボールの試合はアレンフィールドハウスで開催され、学生や熱狂的なファンを魅了します。男子チームは常に全米トップチームの上位にあり、ナショナル学生バスケットボールで5回優勝しています。毎シーズン、男子は18試合、女子は19試合ホームゲームがあり、計36万5千人のファンがバスケットボールの試合を観戦します。

KUの最も美しい建物の一つにダイチホールがあります。自然史博物館の本拠地であるダイチホールは100年以上前に設計され、アメリカの歴史的・文化的財産であるパノラマを展示しています。パノラマはKUで作られ、北米の哺乳動



ダイチホール（自然史博物館）

物が熱帯地方からツンドラまで自然のままに展示され、世界的に見ても匹敵するものはありません。1903年の開館以来100万人以上が訪問しています。

リードセンター（コンサートホール）は、世界的な舞台芸術をKUにもたらし、大学と近郊地域に恩恵をもたらしています。最新の施設であるホールは1993年にKUの西キャンパスに開設されました。国際的なオーケストラからブロードウェイのショーまで、また地域の生徒のために人気のある演奏者が特別プログラムを披露します。毎年このホールでは10万人以上の人々が160の音楽イベントに魅了されています。



自然史博物館のパノラマの一場面



リードセンター：2000年、平塚市民合唱団が合唱交流でこの舞台に立ちました

「史跡の風景」第14回

日本考古学の原点 万田貝殻坂貝塚



湘南平から眼下の万田貝殻坂貝塚とかつての干潟を望む



現在の「貝殻坂貝塚」銘板

大正14年（1925年）に道路を整備すべくこの坂を切り通したところ、貝殻や土器片などの遺物が発見され、知らせを受けた東京大学人類学教室が発掘調査を実施しました。この調査では縄文土器、貝類、獣骨と共に人骨が出土したと当時の人類学雑誌に報告されています。

ここで注目されたのは、「深い位置に埋まっている資料は浅い位置に埋まっている資料より古い」という考古学研究の原則を確認した成果で、「層位的な編年研究の先駆」と評価されました。ところがこの時の調査は道路工事途中の調査でしたので、貝塚の広がり把握するには至らず、いつしか「幻の貝塚」と言われるようになってしまいました。そして75年後の平成12年、下水道工事に際して道路面から下約2mの深さからハマグリやダンベイキシャゴが現われ、貝塚が残されていることがわかり



貝塚周辺の景観
(北から 昭和33年頃)

ました。平塚市は貝層の下に下水管を通すよう工法を変更して貝塚を守ったのです。

一方、市営住宅の建替えに伴う周辺道路の整備事業では、歩道の敷設とバリアフリー化のための造が必要になり、地上部分の発掘調査を実施することになったのです。発掘調査の結果、縄文時代前期から後期（今から4000年～6000年前）の食生活を物語る様々な資料が出土しました。魚の骨ではカツオとボラが圧倒的に多いこともわかりました。

貝塚は高麗山山塊北麓に作られ、全体に斜面をずり落ちて堆積したようです。出土した貝殻や獣骨は、当時の環境を物語ってくれます。貝塚を通る道路面の標高は約14mで、北側の沖積地はそれより3m前後低くなっています。縄文時代にはこのあたりまで海が入り込み、豊かな干潟が広がっていたらしく、貝塚には大きなハマグリやイノシシの貝殻がぎっしりと堆積していました。食料にしたシカやイノシシは貝塚の南側、高根から高麗山へつながる丘陵地で捕えられたものでしょう。

現在、貝塚の地に建つ市営住宅は「万田貝塚住宅」と名付けられ、貝殻をデザインした棟名サインが採用されています。「縄文時代のタイムカプセル」ともいべき貝塚は、まちのシンボルとして輝きながら、未来へと受け継がれていきます。



発掘調査現地見学会
(平成17年12月10日)

第63回平塚市文化祭を開催します | 開催日、内容等は下記のとおりです。ゆっくりと芸術文化に触れてみませんか。

◆展示発表

開催日	内容	開催場所
10月 8日(木)～11日(日)	華道、文芸部門入選作品展	中央公民館
10月14日(水)～17日(土)	書道、文芸部門入選作品展	美術館
10月20日(火)～25日(日)	写真、絵画・彫刻	美術館
11月 2日(月)～ 6日(金)	文芸部門入選作品展	本館1階



平塚市文化祭【公募展】の作品を募集します！

- 応募資格 15歳以上(但し、中学生は除く)
- 応募部門 書道、写真、絵画・彫刻 ※工芸の部は実施いたしません。
- 参加料 1人1部門 1,000円
- 搬入・受付日 【書道部門】 10月12日(月・祝) 9時30分～10時30分
【絵画・彫刻部門】 10月18日(日) 9時30分～11時
【写真部門】 10月18日(日) 11時～12時30分
に直接平塚市美術館へ作品をお持ちください。
- その他 応募要項は公民館等に置いてあります。
- お問い合わせ 社会教育課 社会教育担当(0463-35-8123)

◆舞台発表

開催日	内容	開催場所
10月11日(日)	フラダンス・剣道・舞踊・吟詠	中央公民館
10月17日(土)	日本舞踊	
10月18日(日)	三曲・長唄・奇術	
10月25日(日)	洋舞	
10月31日(土)	音楽	
11月 1日(日)	民舞・民謡、謡曲・琵琶	

◆文芸大会等

開催日	内容	開催場所
10月17日(土)	俳句大会	中央公民館
10月25日(日)	短歌大会	
11月 3日(火・祝)	茶会	美術館
11月15日(日)	ビデオ映画発表会	
	川柳大会	誌上大会

平塚市文化振興基金に御協力を！

平塚市文化振興基金は、市民文化の振興を図るために活用されます。基金に御協力くださる方は、平塚市文化・交流課までご一報ください。(0463-32-2235)